

## 令和5年度第2回市立旭川病院経営委員会 会議の記録

- 1 日 時：令和6年2月9日（金）18時～18時40分
- 2 場 所：中会議室（外部委員はZOOMによる参加）
- 3 出席者：（内部委員6人）  
青木管理者、石井委員長、笹村委員、村上委員、垂石委員、古川委員  
(木村委員は欠席)  
(外部委員4人)  
東委員、小閑委員、滝山委員、宮嶋委員（津山委員は欠席）
- 4 資 料：
  - 1\_令和5年度 第2回市立旭川病院経営委員会 次第
  - 2\_委員名簿
  - 3\_令和5年度決算見込みと令和6年度予算について（資料1）
  - 4\_第4次中期経営計画の見直しのポイント（資料2）
  - 5\_第4次中期経営計画 R5年度改訂版（資料3）
- 5 会議内容（主な意見や質問の要旨）
  - A委員  
精神科の受入れなどに対応いただき感謝している。  
デジタル化については病院間の連携や役割分担の推進に必要なことである。（デジタル化が進めば）これまで以上に医療機関同士が助け合いながら地域医療を支えていくことができるだろう。  
コンサルティングを導入することだが、どのような点に期待しているのか？
  - 委員長  
主に投入する医療資源の効率化につながるものと考えている。当院はDPCに移行して以来、投入する医療資源（コスト）はこれまで各診療科の自由裁量に任せってきた。コンサルティング会社には他の医療機関が一人の患者にどのくらい医療資源を投しているかといったデータがあるので、そうしたデータを参考しながら当院のコストにメスを入れていきたいと考えている。  
また、各種加算の取得状況についてもデータを分析し、当院の立ち位置を各診療科や部門に示すことで、増収を図っていきたい。
  - B委員  
市立病院の救急搬送件数が増えているデータがある。旭川市の救急医療は逼迫しているので、市立病院は特に消化器内科や循環器内科、精神科といった得意分野において、救急患者を今後も引き続き受け入れていただきたい。  
そして少しでも早く年間3000件の受入れを実現してほしい。
- 6 結 論  
計画の見直し案に対し、変更を求める意見がなかったため、了承を得たものとし、原案を第4次中期経営計画（R5年度改訂版）として決定する。